

第65回岡山・香川連合海区  
漁業調整委員会議事録

令和8年2月18日（水）

第65回 岡山・香川連合海区漁業調整委員会議事録

1 開催日時 令和8年2月18日(水) 午後2時00分から午後2時33分

2 開催場所 香川県高松市サンポート1番1号  
高松港旅客ターミナルビル7階 会議室

3 委員総数及び出席委員数  
委員総数 19名  
出席委員数 17名

4 出席委員

【岡山海区】

会 長	井本 瀧雄
委 員	柴田 悟
委 員	豊田 安彦
委 員	國屋 利明
委 員	小谷 基
委 員	平田 晋也
委 員	三宅 秀次郎
委 員	栗田 睦

【香川海区】

会 長	北尾 登史郎
委 員	橋本 時雄
委 員	北野 廣治
委 員	木下 一彦
委 員	小山 雅司
委 員	一田 弘樹
委 員	宮地 利博
委 員	嶋野 勝路
委 員	筒井 由果

5 関係出席者

【岡山海区】

農林水産部水産課

課 長	石飛 博敏
総括参事	濱崎 正明
(兼事務局次長)	

海区委員会事務局

副参事	弘奥 正憲
主 幹	村山 史康
主 任	宮原 浩三
局 長	中田 千佳子
書 記	日比野 康郎

【香川海区】

農政水産部	次 長	柏山 浩史
農政水産部水産課漁業調整室	室長補佐	藤原 宗弘
	(兼事務局次長)	
	主 任	宮奥 昴次
	主任技師	丸山 俊輔
海区委員会事務局	局 長	植田 豊
	(兼漁業調整室長)	
	書 記	小林 武

6 傍聴者

なし

7 付議事項及びその結果

第1号議案 令和8年度における各種漁業の入会調整について  
(結果) 原案どおり決定した。

8 議事の概要

**植田局長（香川海区）**

皆様お揃いになりましたので、ただ今から第65回岡山・香川連合海区漁業調整委員会を開催させていただきます。

私は香川海区漁業調整委員会事務局の植田と申します。しばらくの間、進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、岡山海区の佐上委員、香川海区の倉本委員が欠席となっております。

合計17名の出席がございますので、事務規程第6条第1項の規定により、本委員会の会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会にあたりまして両海区の会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

まず、香川海区の北尾会長、ご挨拶をお願いいたします。

**北尾会長（香川海区）**

香川海区の北尾でございます。開催海区でございますので、開会にあたりひと言ご挨拶申し上げます。

まずは、岡山海区の井本会長様、委員の皆様、石飛課長、岡山海区事務局の皆様、高松までお越しいただきまして、ありがとうございます。

また、両県の漁業調整並びに水産振興についてご尽力いただいておりますこと、心より敬意を表する次第でございます。

さて、香川海区でございますが、うちは愛媛海区さん、それから広島海区さん、そし

て岡山海区さんの3海区と連合海区委員会を設置してございます。今回の岡山海区さんとの連合海区が今年度は最後ということで、本日も円満に議事が進むことをお祈りいたします。

先日、広島に訪問した際、広島海区会長さんからお伺いしたのですけれども、広島海区も当然岡山海区さん、それから近隣の海区さんと連合海区を設置しているということなのですが、山口海区さんとは、最近広島から山口への入漁がほとんどないということで、委員会開催を見送るという話をされておりました。うちの香川海区も広島海区にも入漁しているのですけれども、許可枠はたくさんあるのですけれども、実際に許可いただいているのは2割程度ということでございます。岡山海区さんにおきましても実際には3割から4割程度のお互いに入漁ということでございます。大きな原因としましては、やはり水産資源の減少、それから一番大きいのは漁業者の減少だと思います。昨日の新聞で香川県では誕生した子供の数が底をついたということですが、やはり今後ますます人が減っていくのではないかと考えています。何とかですね、漁業者の皆さんに頑張っていて、引き続き連合海区が盛大に開催されるようにお祈りをするところでございます。

本日の議題は令和8年度における各種漁業の入会調整についてということでございます。委員会に入るまでに、各委員さんにご尽力いただきまして、協定が円滑に締結されることを期待しています。本日はどうぞよろしくお祈りいたします。

#### **植田局長（香川海区）**

ありがとうございました。

続きまして、岡山海区の井本会長、ご挨拶をお願いします。

#### **井本会長（岡山海区）**

こんにちは。岡山海区の井本でございます。岡山海区を代表いたしまして、ひと言ご挨拶を申し上げます。香川海区の委員の皆さんや県関係者の方々には、常日頃より岡山県の水産業に、ご理解ご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

また、香川海区事務局の皆様におかれましては、会場の準備等にご尽力いただきましてありがとうございます。

さて、岡山、香川の漁業にあたりましては、これまでも様々な問題がありましたが、委員の皆様方のご尽力により、円満に解決されてまいりました。引き続き、隣接県の漁業者が、お互いに安心して操業できるよう、今後ともよろしくお祈りいたします。

最後になりますが、両県の漁業の発展と本日出席の委員の皆様の方の今後のますますの健康とご活躍を祈念いたしまして、簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。

#### **植田局長（香川海区）**

ありがとうございました。

続きまして、開催県の香川県農政水産部、柏山次長からご挨拶申し上げます。

## **柏山次長（香川県農政水産部）**

ただいまご紹介いただきました香川県農政水産部の柏山でございます。

本日は両海区の委員の皆様方、大変お忙しいところをご出席いただきまして、誠にありがとうございます。岡山県の皆様方におかれましては、高松までお越しいただきまして、ありがとうございます。

また、両県の海区漁業調整委員会の皆様方におかれましては、日頃より漁業調整はもとより、それぞれの県の水産業の振興ということに対し、ご尽力いただいておりますことを心からお礼を申し上げるところでございます。

さて、岡山・香川連合海区漁業調整委員会の入会協定につきましては、両県漁業者の操業機会の確保や入会海域における漁業調整につきまして、いろいろと過去には問題もあり、また漁業環境の変化と操業状況の変化があったところがございますけれども、両委員会の委員の皆様方、さらには地元漁業者間での協議を経た上で、場合によれば協定の見直しを行うなど、いろいろとご苦勞、ご検討いただいたところございまして、積極的に両海区がいろいろ水産業の発展や漁業秩序の維持という形で、適切に形成されているところではないかと思えます。

そういう中で、令和2年に改正漁業法が施行されまして、その中でも資源管理につきましては、大きく変わってきていると思えます。クロマグロをはじめ、厳しく資源管理されておりますし、昨年はスルメイカの漁獲が増えましたが、その枠を小型いか釣漁業が漁獲枠を超過したことについて新聞紙上を賑わし、いろいろと水産資源の管理について大変注目を浴びているという状況です。この瀬戸内海では昨年、カタクチイワシにTACが導入されまして、まずはステップ1ということがございますけれども、漁獲量の報告をきちっとやっていくということになっています。国においては引き続き、トラフグやサワラという魚種を挙げていますけれども、やはり各地先の漁業実態を踏まえた導入というものが、必要であると考えているところがございます。

両県の委員の皆様方におかれましては、今後とも地域の実態を踏まえた、漁業調整はもとより、水産資源の適切な管理を進めるにあたってご尽力、ご協力をいただければとお願いするところでございます。

結びにあたりまして、本日の入漁協定が無事締結されることを祈念いたしますとともに、両県漁業者の方々の大漁と安全操業を祈念して、開催県としてのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

## **植田局長（香川海区）**

続きまして、訪問県であります岡山県農林水産部水産課、石飛課長様からご挨拶をお願いいたします。

## **石飛課長（岡山県水産課）**

岡山県水産課長の石飛でございます。

岡山・香川連合海区漁業調整委員会の開会にあたりまして、訪問県を代表しましてひと言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から漁業調整はもとより、水産振興にご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。本日、第65回の連合委員会を迎えることができましたのも、これまでの諸先輩方のご尽力の積み重ねによるものだと、感謝しているところでございます。

さて、今さら申すまでもございませませんが、漁業者の減少や、水産物の消費低迷に加え、近年の海水温上昇や貧栄養化など、水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。

特に、昨年は瀬戸内海全域でカキの大量へい死が発生しまして、漁業者の皆様は、来漁期以降の生産にも不安を抱えていることと思っておりますが、香川県の皆様方と、引き続き連携を密にして、原因究明や今後の安定生産について対応してまいりたいと考えておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、漁船漁業におきましても、漁獲量が大きく減少するなど、大変厳しい状況が続いておりますが、これまで資源管理や栽培漁業などをはじめ、様々な分野で、香川県の皆様方とは連携を図りながら進めてまいりましたので、地元水産業の発展について、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会議の準備等で大変お世話になりました、香川県の事務局の方々へ感謝申し上げますとともに、本日の入漁協定が円満に整い、両県の漁業がさらなる発展をするよう心から祈念申し上げまして、簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### **植田局長（香川海区）**

ありがとうございました。

次に、各県事務局より委員のご紹介をさせていただきます。私の方から香川海区の委員をご紹介させていただきます。

まず、ご挨拶のありました北尾会長でございます。続きまして橋本委員、北野委員、木下委員、小山委員、一田委員、宮地委員、嶋野委員、最後に筒井委員でございます。

#### **植田局長（香川海区）**

続きまして、岡山海区事務局の中田局長から岡山海区の委員のご紹介をお願いいたします。

#### **中田局長（岡山海区）**

それでは、岡山海区漁業調整委員会の委員を紹介させていただきます。まず、井本会長でございます。続きまして柴田委員、豊田委員、國屋委員、小谷委員、平田委員、三宅委員、最後に栗田委員でございます。

#### **植田局長（香川海区）**

ありがとうございました。

なお、事務局及び県職員の出席者につきましては、資料の2ページに出席者名簿を付

けておりますので、ご覧いただければと思います。

それから、ご報告でございますが、本日、傍聴者の出席はございません。

続きまして、当連合海区委員会の会長でございますが、第39回連合委員会の取り決めに よりまして、開催海区の会長が務めることになっております。本日の連合委員会の会長は香川海区の北尾会長、会長代理は岡山海区の井本会長が務めることとなりますので、よろしく申し上げます。

次に、議長の選出でございますが、慣例に従いまして連合海区会長が務めることになっておりますので、北尾会長、以後の議事進行についてよろしく申し上げます。

### **北尾議長（香川海区）**

これより議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。議事に入ります前に、議事録の署名委員を私の方から指名させていただきます。香川海区の橋本委員さん、岡山海区の平田委員さん、よろしくお願いいたします。

それでは、これより議事に入ります。第1号議案の「令和8年度における各種漁業の入会調整について」を上程いたします。最初に香川海区から説明をお願いします。

### **小林書記（香川海区）**

香川海区事務局の小林でございます。お手元の資料3ページ目をお願いいたします。香川海区から岡山海区への入漁内訳でございます。表の左の方から、地区名、漁業種類、統数、組合別内訳、漁業時期、操業区域、令和7年度許可の実績、備考となっております。上から順に地区別の漁業種類毎の希望統数を中心に読み上げさせていただきます。

まず、東部地区でございますが、小型機船底びき網が土庄中央漁協他で合計141統でございます。さわら流網が土庄中央漁協4統、香西漁協3統、まながつお流網が香西漁協3統でございます。その下、中部地区に移ります。はえなわが与島漁協7統と70統でございます。それから、小型機船底びき網が与島漁協及び本島漁協で58統。与島漁協18統、高松市瀬戸内漁協で112統、坂出市漁協他で合計164統でございます。

続きまして、4ページ目をお願いいたします。中部地区の続きでございます。たいらぎ潜水器35統、みるくい・なみがい潜水器ですが、こちらは備讃瀬戸たいらぎ・みるくい潜水器漁業同業組合で決定した統数となっております。この2つの潜水器漁業につきましては、地元関係漁協間で調整が成立したものとなっております。これにつきましては資料の11ページ、12ページをご覧ください。こちらに令和7年度の実績を付けてございます。まず、たいらぎ潜水器につきましては、11ページ目の上段で令和7年度の実績は2統でございます。それから12ページのみるくい・なみがい潜水器につきましては、令和7年度の実績は3統となっております。

それでは資料の4ページの方に戻っていただき、続きましてまきえ釣りでございます。与島漁協が5統、7統、1統となっております。さわら流網は、与島漁協、宇多津漁協、本島漁協、中讃西部漁協、多度津町高見漁協で合計19統。多度津町高見漁協で4統と

なっています。続きましてまながつお流網が、坂出市漁協、与島漁協、宇多津漁協、中讃西部漁協、多度津町高見漁協で46統でございます。西部地区に移ります。さわら流網が三豊市漁協2統と観音寺漁協6統。点火いさがり本島漁協4統。小型機船底びき網が三豊市漁協、詫間漁協、観音寺漁協、伊吹漁協で合計78統でございます。

令和8年度の入漁希望は漁業種類、統数、漁業時期、操業区域ともに令和7年度と同様となっております。以上が香川海区から岡山海区への入漁希望でございます。ご審議の程、よろしくお願いいたします。

### **北尾議長（香川海区）**

続きまして岡山海区から説明をお願いします。

### **日比野書記（岡山海区）**

岡山海区事務局の日比野と申します。よろしくお願いいたします。

資料5ページをお願いします。令和8年度の岡山・香川連合海区入漁協定表（案）のうち、岡山海区から香川海区への入漁内訳でございます。表の左の方から、地区名、漁業種類、統数、組合別内訳、漁業時期、操業区域、令和7年度の許可実績及び備考となっております。資料に沿って、上から順に漁業種類、統数を中心に説明させていただきます。

まず、東部地区、玉野市以東の関係組合でございます。小型機船底びき網、胸上19統、日生町他8組合で241統、たまの12統。さわら流しさし網、たまの30統、胸上2統、日生町、邑久町、牛窓町、朝日で72統、牛窓町、朝日で15統。まながつお流しさし網、胸上、たまので4統。たこつぼなわ、胸上3統。いいだこつぼなわ、胸上1統。まきえ釣り、たまの7統。まだこ釣り、たまの5統でございます。

続きまして、6ページをお願いします。中部地区、倉敷市児島地区関係組合でございます。小型機船底びき網、児島他5組合で135統、児島31統。ごち網、児島、下津井、下西で9統、児島1統。いかなご込網、第一田之浦吹上他4組合で6統。餌料いわし込網、第一田之浦吹上他4組合で6統。いか込網、児島他4組合で9統。まながつお込網、児島他4組合で9統。大型込網、児島、下西で2統でございます。

続きまして7ページをお願いします。さわら流しさし網、児島他5組合で23統。まながつお流しさし網、児島他4組合で11統。かに建網、第一下津井1統。ままかり巻きさし刺網、第一下津井3統。たこつぼなわ、第一田之浦吹上、第一下津井、下津井、下西で22統。第一田之浦吹上、下津井で3統。いいだこつぼなわ、第一田之浦吹上、下津井、下西で10統、第一下津井1統、第一下津井1統、下西1統、第一下津井2統でございます。

続きまして、8ページをお願いします。あなご延なわ、児島、第一田之浦吹上、本田之浦吹上で9統。児島他5組合で20統。たいらぎ潜水器、23統。みるくい・なみがい潜水器、備讃瀬戸たいらぎ・みるくい潜水器漁業同業組合で決定した統数。点火いさがり、

第一田之浦吹上、本田之浦吹上、下西で7統、児島1統でございます。たいらぎとみるくい・なみがいにつきましては、資料の11ページと12ページに令和7年度の実績を付けております。11ページをお願いします。たいらぎ潜水器の実績でございます。下の表をご覧ください。岡山海区から香川海区への入漁統数が4統、次に、12ページの下の方にみるくい・なみがい潜水器の岡山海区から香川海区への入漁統数を記載しておりますが、同じく4統となっております。

続きまして、9ページにお戻りください。かにすくい網、児島他4組合で40統。まきえ釣り、第一田之浦吹上、本田之浦吹上で8統。まだこ釣り、児島他5組合で220統。児島他4組合で34統。第一田之浦吹上他4組合で16統。児島他5組合で69統でございます。

続きまして、10ページをお願いします。西部地区、倉敷市玉島以西の関係組合でございます。小型機船底びき網、黒崎連島、寄島町、大島美の浜、笠岡市で217統。さわら流しさし網、黒崎連島、寄島町、大島美の浜で18統。かに建網、黒崎連島、笠岡市で6統。こち・げた建網、寄島町、笠岡市で6統。まきえ釣り、笠岡市6統。まながつお流しさし網、笠岡市、大島美の浜、寄島町で5統。黒崎連島1統でございます。

以上が岡山海区から香川海区への入漁希望でございます。入漁希望数、組合別内訳、漁業時期、操業区域、いずれも今年度と同様となっております。

岡山海区からの説明は以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

#### **北尾議長（香川海区）**

ただ今、両海区の事務局から令和8年度の入漁希望について説明がございましたが、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

#### **委員一同**

（意見なし。）

#### **北尾議長（香川海区）**

ご意見がないようですので、まとめに入らせていただきます。「令和8年度における各種漁業の入会調整について」は原案どおり承認することよろしいでしょうか。

#### **委員一同**

（異議なし。）

#### **北尾議長（香川海区）**

異議なしと認め、令和8年度における各種漁業の入会調整については、原案どおり承認したいと思います。

次に「その他」でございますが、何かございますか。

#### **北野委員（香川海区）**

これからのことを考えますと、協定の許可数について、当時はこれだけの数がありましたが、現状は組合員も3から4割減って、許可数も相当減っています。今すぐにとい

うわけではありませんが、実態に見合うように修正を検討いただきたいと思います。

**北尾議長（香川海区）**

今、香川海区の北野委員さんから、協定の許可数と実態がかなり離れているので、見直しをしてはどうかというご意見がございましたが、岡山海区さん、どうでしょうか。

**小谷委員（岡山海区）**

中部地区はまだこ釣りについて、去年か一昨年、見直しをいたしました。与島漁協から底びきの見直しについて話があり、岡山でもこの間の会議で話が出て、すぐにといい話ではないですけど、今後見直しをする方向で調整したいと考えています。

**北尾議長（香川海区）**

両海区それから事務局の皆さんで調整をしていただいて、次回の海区で答えが出るかどうかはわかりませんが、見直す方向で進めていただくということをお願いしたいと思います。他に何かありませんか。

**委員一同**

（意見なし。）

**北尾議長（香川海区）**

他にないようですので、これで第65回岡山・香川連合海区漁業調整委員会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。

（終了時刻：午後2時33分）

上記のとおり議事の顛末を記し、  
事実と相違ないことを証する。

令和8年2月18日（水）

議長 北 尾 登 史 郎

議事録署名委員 橋 本 時 雄

議事録署名委員 平 田 晋 也